



ごあいさつ



SK松本ジュニア合唱団
団長 芦田勝弘

本日は年末を迎え何かとお忙しい中「SK 松本ジュニア合唱団 2008 クリスマスコンサート」に御来場頂きまして誠にありがとうございます。

当合唱団は 1993 年の SKF(サイトウキネンフェスティバル)が初めて上演したオペラ「火刑台上のジャンヌ・ダルク」に出演した児童合唱団を母体に結成され、SK の文字を誇りに、地域に愛される合唱団を目指し活動を続け、15 年の歴史を重ねるまでになりました。

今年のコンサートは 15 周年を記念して新しいジャンル、沖縄の歌と踊りに挑戦しました。独特の文化に育まれた沖縄の歌や踊りは、今までとは違った難しさがありましたが、沖縄より指導者を迎えての練習と子ども達のがんばりで、回を重ねることに仕上がっていき様は、子ども達の成長する力やたくましさを感じることができました。

また、来年 1 月には海外への演奏旅行も計画され、ウィーン楽友協会との交流事業による楽友協会ホールでの演奏や現地教会での演奏などが予定されています。次代を担う子ども達にとって国際的な文化交流の経験は、歌う事だけでなく生きていく上様々な面でも、新たな成長の糧になるものと信じています。

子ども達にはこうした活動や素晴らしい音楽を作り上げる感動を通して豊かな感性を育み、伸び伸びと育てて欲しいと心から願っています。

改めてご指導の先生方、長野県松本文化会館など関係の皆様方に感謝申し上げ、これからも SK 松本ジュニア合唱団を温かく見守り、育てて頂くことをお願い申し上げましてご挨拶と致します。本日のコンサートを充分にお楽しみ下さい。



長野県松本文化会館
ホールマネージャー
田中 大蔵

本日は、SK松本ジュニア合唱団2008 X'masコンサートが盛大に開催されますことを心よりお慶び申し上げます。

1994年長野県松本文化会館を拠点に発足したSK松本ジュニア合唱団もはや十余年、現在小学生から高校生まで多くの子ども達で混声・女声・男声・児童合唱とハーモニーの輪を広げています。

本年は、沖縄から舞踊の先生をお招きし、沖縄民謡を基にした新しい合唱のジャンルに挑戦いたします。子どもたちにとっては未知の体験であり、かつ松本市から他地域へと活動の幅が広がり、非常に嬉しく感じております。

今後尚一層、多くの人々との心温まる交流を通じて世界が広がるようSK松本ジュニア合唱団が育ってゆけばと願っております。

観客の皆様にはどうか子どもたちをあたたかく見守り、惜しみない応援をお願い申し上げます。

